

2017-2019 年度中期事業計画について

アイベックスエアラインズ株式会社(本社:東京都江東区・代表取締役社長:浅井孝男、以下 IBEX)は、このたび 2017 年度～2019 年度の中期事業計画を策定いたしました。

本中期期間は、IBEX の将来ビジョン「リージョナルキャリアのトップリーダー」へ向けた基盤形成期と位置付け、財務体質の強化を図るとともに、基本品質と商品競争力の優位性確立へ向けた戦略を加速させます。概要は以下の通りです。

記

1. 基本方針

安全運航の堅持を前提として、財務体質の強化を図るとともに、運航品質の向上及び商品競争力の優位性確立に向けた戦略に取り組みます。

2. 中期戦略の概要

(1) 安全・危機・航空保安の強化

安全・危機管理・航空保安に関する意識醸成と管理体制の一層の強化を図ります。

(2) オペレーション戦略

運航に関わるサポート体制ならびに航空機整備の管理機能・実施体制の強化により、欠航・遅延の未然防止を図り、定時性向上に向けた取り組みの強化を図ります。

(3) ネットワーク戦略

CRJ700 型機の機材特性に適合する路線の選択と集中を図り、地方航空路線の維持・拡充を図ります。

(4) サービス戦略

お客様に IBEX らしさを感じていただける「誠意のこもったおもてなしサービス」の具現化を図り、商品力の向上を図ります。またホームページの機能向上やリニューアルを検討し、快適性・利便性の高い WEB 予約サイトの構築を目指します。

(5) 運賃戦略

地域との繋がり・独自性・シンプルをコンセプトに、新たな運賃体系の導入を検討します。

(6) コスト適正化

安全性の担保を前提とし、コストの適正化と財務体質の強化を図ります。

(7) 人財戦略

人事制度の総点検と改善提案制度の導入により、社員ひとりひとりがいきいきと働ける環境の整備と創意工夫の風土醸成を目指します。

(8) 社内情報共有方法の再構築

情報共有に関する環境整備を検討し、業務効率の向上と課題解決の促進を図ります。

3. 機材計画

中期ネットワーク戦略の実現と基本品質の強化を図るべく、CRJ200型機の残り1機を2017年度に退役させるとともに、CRJ700型機を2017・2018年度にそれぞれ1機(計2機)導入し、CRJ700型機への更新及び機種統一を図ります。また本中期期間においては、次世代機種の選定について検討を開始します。

4. 路線計画

中期ネットワーク戦略の推進と生産資源の効率性を考慮した最適なリージョナルネットワークの構築を図ります。

5. 収支計画

中期事業計画の各種戦略による事業収入の拡大とコスト適正化の推進により、本計画最終年度となる2019年度には事業収入175億円、営業利益率6%以上の達成を目指します。

以上